

鉄軌道駅の段差解消に向けた対応状況について
(臨時報告書)

【様式】

未整備駅名	一ノ関駅
未整備駅の 所在都道府県及び市区町村	都道府県：岩手県 市区町村：一関市
路線名	東北新幹線・東北本線・大船渡線
1日の平均利用者数 (平成20年度末現在)	8,878人
鉄道事業者又は軌道経営者 関係自治体	東日本旅客鉄道株式会社 一関市

バリアフリー化に関する現状	
在来線 地平駅 2面3線 こ線橋	
1番線はエレベーター(基準適合)により段差解消 2・3番線は車椅子対応ESC(一方向)を設置(段差未解消)	
新幹線 高架橋 2面2線 こ線橋	
各新幹線ホームとも業務用エレベーターにて対応している(段差解消未済)	

バリアフリー法第6条では、施設設置管理者等の責務として、「施設設置管理者その他の高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する施設を設置し、又は管理する者は、移動等円滑化のために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定されておりますが、この責務を踏まえ、鉄道事業者(軌道経営者)におかれましては、以下の質問にご回答下さい。(必須)

質問1 未整備駅について、平成22年(注)までにエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を行うための計画の有無につきましてご回答下さい。(該当するものを○で囲んで下さい。)

(1) 有 (2) 無

※ 以下の質問2は、質問1で(1)と答えた鉄道事業者(軌道経営者)におきまして、ご回答下さい。

質問2 エレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現する予定の時期をご回答下さい。

・ 時期：平成 年 月予定

(未定である場合はその理由を詳細にご回答ください。また、留意事項がある場合はご記入下さい。)

※ 以下の質問3から質問4までは、質問1で(2)とご回答した鉄道事業者(軌道経営者)におきまして、ご回答下さい。

質問3 未整備駅について、平成22年(注)までにエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を行うための計画をないとした理由及び課題についてご回答下さい。

現在一関市が計画する一ノ関駅周辺整備事業と合わせて段差解消を図るべく、関係自治体と協議を進めている段階です。※新幹線については21年度末までにEV設置予定。

質問4 平成23年(注)以降にバリアフリー化を行う場合、エレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現する時期及び実現までのプロセスをご回答下さい。

・ 時期：平成 年 月予定

・ 実現までのプロセス(スケジュール表等の添付も可)

一ノ関駅周辺整備事業と合わせて整備します。

(未定である場合はその理由を詳細にご回答下さい。)

一ノ関駅周辺整備事業と合わせて整備します。

(注) 様式中、「平成22年、平成23年」となっているが、鉄軌道事業者の事業計画期間を勘案し、「年度」と読み替える。

(調査)

バリアフリー法第5条では、地方公共団体の責務として、「地方公共団体は、国の施策に準じて、移動等円滑化を促進するために必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定されておりますが、これら責務を踏まえ、所在都道府県及び市区町村におかれましては、以下の質問にご回答下さい。(任意)

〇都道府県(未整備駅の所在都道府県の記載事項)

質問I 未整備駅について、鉄道事業者(軌道経営者)が実施するエレベーター又はスロープによる「段差の解消」の実現のための措置を講ずる意思の有無につきましてご回答下さい。(該当するものを○で囲んで下さい。)

(1) 有 (2) 無

質問II 質問Iで(1)と答えた都道府県におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置の具体的な内容をご回答下さい。

一ノ関駅周辺整備事業と併せてエレベーターなどの設置による段差の解消が実現されるよう、関係者に対して必要な働きかけを行っている。

質問III 質問Iで(2)と答えた都道府県におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置を講ずる意思がない理由の具体的な内容をご回答下さい。

〇市区町村(未整備駅の所在市区町村の記載事項)

質問I 未整備駅について、基本構想の有無につきましてご回答下さい。(該当するものを○で囲んで下さい。)

(1) 有 (2) 無

質問II 未整備駅について、鉄道事業者(軌道経営者)が実施するエレベーター又はスロープによる「段差の解消」の実現のための措置を講ずる意思の有無につきましてご回答下さい。(該当するものを○で囲んで下さい。)

(1) 有 (2) 無

質問III 質問IIで(1)と答えた市区町村におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置の具体的な内容をご回答下さい。

一ノ関駅の整備については、先般、一ノ関駅周辺整備まちづくり市民検討委員会を設け「磐井川堤防改修に関わるまちづくり(一ノ関駅周辺整備)基本構想案」の提出を受けたところであり、今後、基本構想を策定していく。その基本構想で方向性が定まった後、一ノ関駅のバリアフリー化を実現する方向で、鉄道事業者と協議中。

質問IV 質問IIで(2)と答えた市区町村におきまして、未整備駅におけるエレベーター又はスロープによる「段差の解消」を実現するための措置を講ずる意思がない理由を具体的にご回答下さい。

担当部署等名	東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社
鉄道事業者又は軌道経営者	岩手県 地域振興部 地域企画室
都道府県	一関市企画振興部企画調整課
市区町村	